

# 京都大学人文科学研究所共同研究 最終報告書

## 1. 研究課題

ポスト・パンデミック世界の新しい社会・環境理論に向けて  
New Socio-Environmental Theories for the Post-Pandemic World

## 2. 研究代表者氏名

香西 豊子  
KOZAI, Toyoko

## 3. 研究期間

2021年4月-2024年3月

## 4. 研究目的

COVID-19は、世界中の国々の政治や経済のみならず、人々の社会観や自然観に根源的な動揺を与えた。人間社会の差別や経済状況に即して被害が甚大となる構造に加え、乱開発がもたらすウイルスと人間の頻繁な接触に警鐘が鳴らされている。だが、感染症の歴史は蓄積が膨大であるにもかかわらず、人文科学の研究者は新しい社会観や自然観や未来構想を発信できていない。本プロジェクトでは、感染症の歴史の文献、特に百年前のスペイン風邪の一次史料を、今回並びに次回の危機の際利用しやすいように整理、蓄積する。それと同時に、パンデミックに関するオンライン連続講演を発信する。これによって、さまざまな価値が動揺する時代に対応した、社会観や自然観の再構築にむけた人文学知を形成することを目的としている。

COVID-19 has caused fundamental upset not only in the politics and economy of countries around the world, but also in people's views of society and nature. In addition to the structure in which the damage is enormous in line with discrimination and economic conditions in human society, the alarm is being given to the frequent contact between viruses and humans caused by overdevelopment. However, despite the vast amount of history of infectious diseases, humanities researchers have not been able to fully disseminate new views of society, nature, and future plans. In this project, the history of infectious diseases, especially the primary sources of the Spanish flu 100 years ago, will be organized and accumulated for practical use in this and the next pandemic crisis. At the same time, he will send out a series of online lectures on pandemics. In doing so, this project has a try to form the humanistic knowledge for the reconstruction of the integrated social and natural views in response to the times when various values are shaken.

## 5. 研究成果の概要

2020年に世界を襲ったパンデミックの影響の只中で、その意味を考えるべく始まった本研究会は、一年目ならびに二年目は、歴史学、医学、社会学など広く疫病の問題に詳しい研究者から発表を聞き、知識を共有した。それと同時に、班長の香西豊子氏の医療や医学にかかわる古本コレクションのデジタル化も進め、一般に公開した。2022年10月28日には附置研究所・センター会議 第3部会 シンポジウムで班長と香西氏と副班長の藤原氏がそれぞれの成果について報告をした。さらに、3年間にわたって、岩波書店から刊行予定の『疫病と人文学』に向けて、それぞれの執筆者につき原則として2回、発表をし、参加者で検討した。

## 6. 共同研究会に関連した主な公表実績

2022年10月28日 附置研究所・センター会議 第3部会 シンポジウム「感染症と近代社会——ポスト・パンデミックの人文学に向けて」

## 7. 研究成果公表計画および今後の展開等

2025年3月までに、『疫病と人文学——終わらせる力に抗い、傷を書きとめる』（岩波書店）を刊行する予定。